

**議** 員の定数や報酬の半減を主張する知事や市長がいる。首長からすれば自分に抵抗する勢力の半減は望むところだ。市長が「暴走」し、勝手に職員ボーナスを減額したり、抵抗した職員を解雇した市もある。今、首長と地方議会のあり方が問われている。さいたま市などの政令市では、行政の守備範囲が広く専門化しているため、行政をチェックする議員には、高い資質と知識が要求されている。



**さ** いたま市議会は、平成19年の改選以降、他の政令市議会に先駆ける積極的な「議会改革」に取り組んできた。歴史のない新しい議会だからこそ、思い切った改革が可能だったともいえる。

## さいたま市議会の議会改革

### 議会のスリム化

合併で議員数が半減。経費の削減に努力。

- 合併政令市化により議員数が半減  
旧4市で129人いた議員数が64人に。
- 次期改選から定数4減の60人に
- 費用弁償を政令市で最初に廃止  
費用弁償(日当・交通費)を19年度に廃止。
- 議員報酬5%削減を条例化  
5%削減を平成19年度に条例化。
- 逮捕・勾留時の報酬差止を条例化  
刑事事件の逮捕・勾留時に報酬を差止め。
- 議員報酬は日割計算  
市発足時から日割計算方式。

### 議会の機能強化

審議の充実、権能と組織を強化。

- 議会基本条例を制定  
議会基本条例を政令市で2番目に制定。
- 議決事件の拡大条例を制定  
議会の議決を要する項目を拡大。
- 本会議場に対面式演壇導入  
平成22年9月議会に政令市で初めて導入。
- 予算委員会の常設化  
議会の半数ずつが予算・決算を審査。
- 政策提言を活発化  
常任委員会が年間政策テーマを政策提言。

### 開かれた議会

情報の公開と発信。参加しやすい議会に。

- 本会議をインターネット配信  
本会議リアルタイム中継。過去の動画も配信。
- 政務調査費領収証の全面公開  
使途基準を明確化、1円からの領収証公開。
- 傍聴の乳幼児入場制限廃止  
乳幼児同伴の傍聴を可能に。
- 本会議傍聴席に磁気ループ設置、  
手話・要約筆記者派遣制度導入  
聴覚障害者が傍聴可能に。
- オープン(開かれた)委員会開催  
区での委員会開催で参加が容易に。
- 参考人招致の活発化  
学識者、市民代表等の意見を直接伺う。
- 中学生議会、高校生議会の開催  
議員と職員がサポートし中高生が議会体験。